

<平成31年度版>

進路ガイダンス



絵：高等部3年2組 北谷 大貴

「自分の進路について考えよう」

広島市立広島特別支援学校 進路指導部

進路ガイダンス 目次

はじめに	P 1
1 進路指導の基本的な考え方と目標	P 2
2 普通科の主な取組	P 3
3 平成31年度 進路指導の全体計画	P 5
4 高等部進路学習（普通科）	P 7
5 高等部進路指導を支える支援計画とネットワーク	P 12
【資料1 就職を支援する機関との連携について】	
6 生活支援・就労支援ネットワークの昨年度の取組	P 14
7 企業開拓	P 16
8 高等部第3学年の進路指導の進め方	P 20
9 個別の移行支援計画	P 22
【資料2 個別の移行支援計画 引継書】	
10 昨年度の進路状況から	P 23
【資料3 平成30年度 高等部卒業生進路状況内訳】	
11 アフターケアの取組	P 26
【資料4 進路状況の推移 ～卒業生の進路ごとの割合（卒業時）～】	
12 障害者総合支援法における障害福祉サービス	P 29
13 平成31年度 福祉関係諸機関一覧	P 32
進路トピックス ～相談支援事業所の利用について～	P 36

はじめに

「進路ガイダンス」は、本校の「進路指導」について、取組や最新の情報をまとめたものです。児童生徒が自らの生き方を考え、将来に対する目的意識をもって、主体的に自己の進路を選択決定し、生涯にわたる自己実現を図っていくことができるような能力や態度を育成するための一助となることをこと願って作成しました。

進路指導は、児童生徒自らの生き方を考え主体的に進路を選択できるよう、学校教育活動全体を通じ、組織的かつ計画的な進路指導を行うことが求められています。その根幹にあるものがキャリア教育です。児童生徒が学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身に付けていくことができるようキャリア教育の充実を図ることが必要です。キャリア教育は、児童生徒に将来の生活や社会、職業などの関連を意識させ、キャリア発達を促すものです。

そのためには、児童生徒が日々の学校生活、授業を通して、児童生徒一人一人の目標に向かって主体的に学び、自立と社会参加に向けて取り組んでいく姿が重要なことです。その姿を希求し、私たち教職員は、適切な指導と必要な支援を行って、授業改善に努めていかなければなりません。主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を図ることが新学習指導要領に示されているゆえんなのです。

さて、本年度5月1日現在の児童生徒数は、560名（平成30年度 527名）で、学級数は、110学級（平成30年度 103学級）です。高等部の生徒数は、283名43学級（平成30年度 284名43学級）です。本年度も、国内で最大規模の特別支援学校となっています。西校舎の2棟には、21教室の普通教室があり全教室高等部が使用しています。児童生徒数の増加に対応して、現在、本校の北側に位置する旧処理施設及び多目的広場を合わせて約15,000㎡に高等部の校舎を増築する基本計画が作成され、プロポーザルにより設計者が昨年度決定しています。今後、基本設計、実施設計が行われ令和4年度に竣工する計画となっています。

高等部では、本年平成31年3月に、高等部第3学年95名の生徒が卒業生し、平成7年度第1期の卒業生32名から数え、卒業生の総数が、1,221名となりました。生徒の障害が重度化、重複化、多様化が顕著な中、生徒、保護者の想いに寄り添いながらより進路指導の充実に取り組んでいるところです。

本校の学校教育目標は、「児童生徒の自立と社会参加を目指し、一人一人の力を伸ばして、主体性をもって豊かに生きる人間を育てる。」です。児童生徒は、限りない能力を有しています。その持てる力を最大限発揮させ、一人一人の教育的ニーズに応じたきめ細やかな教育実践が重要です。教員は、児童生徒、保護者、地域から信頼されるよう専門性と指導力の向上に鋭意努力をしています。

学校、家庭、福祉・労働・医療等関係機関とつながりを深め、小・中・高12年間の連続性のある学びを行い、「本校を選んでよかった。本校で学んでよかった。」と書いていただけるよう、今後とも研鑽してまいります。

令和元年5月

広島市立広島特別支援学校長 中尾秀行

1 進路指導の基本的な考え方と目標

(1) 目標

一人一人の生徒が、地域の中で生きがいをもって豊かに生活することを目指し、希望する進路（生き方）の実現に向けて、指導や支援を行う。

(2) 基本的な考え方

学校生活で付けておきたい力や、生活を豊かにするための医療、福祉、労働、地域等の支援を「個別の教育支援計画」にまとめ、効果的に活用をして進路を進めていきます。

① 「子どもから大人へ移行するための取組」

生徒自身が主体的に進路を決定するために進路学習を計画・実施し、卒業後の生活に必要な知識や力を付けます。

② 「学校から社会へ移行するための取組」

職場見学や職場（体験）実習の取組の中で、各関係機関（職業安定所、職業センター、卒業・生活支援センター、相談支援事業所、福祉施設等）と学校が連携・協力するための資料とします。

③ 「スムーズな移行と定着を目指して」

学校での取り組みが進路先へスムーズに移行されるために引継書を作成し、支援の継続を図ります。地域生活や就労の定着を目指します。

(3) 進路指導・移行支援を進める上で大切にしたい視点

ア 進路決定の主人公は本人

本人の参加と自己決定を大切にします。

イ 本人に合わせた進路指導・移行支援への取組

キャリア教育の視点を踏まえた進路学習や、職場見学、校内実習、職場（体験）実習、面談等を通して、卒業後の生活や労働を学びます。

ウ 進路指導・移行支援の取組を進めるための各関係機関や地域との連携・協力

JST（ジョブサポートティーチャー）による職場開拓や実習指導において、就労支援機関と連携を取ります。

障害児（者）の福祉サービス等の効果的な利用や社会参加の機会をつくるために相談支援機関や地域との連携・協力による生活支援相談会やネットワーク会を行います。

エ 卒業後も安心した生活や就労を実現するための移行支援の実施

アフターケア計画に基づいて定着指導や社会生活で直面した問題や悩み事の解決に向けて支援を行います。

2 普通科の主な取組

(1) 生徒対象

ア 職場見学

福祉施設や企業などで働いている人や活動している人たちの様子を見学を通して、社会生活や働くことへの関心をもち、自分の進路について考えます。

イ 校内実習（高1）

仕事内容の違うグループ（5種類程度）に分かれて、5日間作業を行います。この実習を通して働くことや生活について考えるとともに、職場体験実習に向けて、自分の力を知る機会とします。

ウ 職場体験実習（高2）

2日から5日間の期間で、福祉施設や企業で実習を行います。通所（通勤）は、本人が自力で行うか、保護者の付き添いを原則とします。進路選択をする上で参考となり得るところで、働いたり活動したりします。体験を通して、自分の力を試みます。自己評価や実習先・保護者・担任の評価を参考に、適正や可能性を考える機会とします。

エ 職場実習（高3）

卒業後の就労や生活について考えるために、2日から10日間の期間で、進路先として希望する福祉施設や企業等に実習に行きます。進路の方向性が決まるまで実習を行います。

オ 進路学習

学校生活で大切にすることや自分の進路を考え卒業後のイメージをつくるために、先輩の進路決定の話や卒業後の仕事、生活の様子のお話を聞いたり余暇活動体験をしたりします。

進路に関する知識や情報を知り将来どんな生活がしたいか、どんな大人になりたいかを考える学習をします。

カ 個別懇談

生徒と個別に相談する機会をもち、生徒の思いをしっかり受け止め、豊かな生活につなげられるように支援します。

キ 職業相談

就職を希望する本人と保護者が職業安定所の担当者と支援機関（就労・生活支援センター）との面談を行います。本人について知ってもらい就職と卒業後の定着支援に向けて継続した取組が行えるようにします。

(2) 保護者対象

ア 進路に関する調査（進路希望調査）

進路希望や福祉制度の活用状況などについて調査し、進路指導の参考にします。進路に関して意見・質問を聞き、進路指導の参考にします。

イ 進路研修

福祉施設での実践や、福祉制度や情勢・就労支援についてなど、ニーズに合った研修を計画します。

ウ 職場・施設見学

進路選択をする上で施設・作業所などの見学を計画します。見学を通して、仕事や活動内容・取組の方針・受け入れの状況などの情報を得て、進路選択の参考にします。

エ 進路懇談・相談

進路指導の計画や、取組内容についてお知らせします。個別懇談や相談では、保護者と担任・進路係が連携をとって進路指導が進められるようにします。

オ 進路ガイダンス・広報誌の発行

進路ガイダンスを作成し、進路指導の基本的な考えや計画・取組などのほか、進路を取り巻く現状や課題について説明します。

進路ニュース「みらい」を発行し、進路の取組状況や施設・作業所・福祉などの情報を提供します。

(3) その他の取組

ア 見学

教職員の資質向上を目的に、7月下旬に複数の見学先を設定し施設見学を実施しています。実際に見学して説明を受けることで、施設や支援内容に関する情報収集に役立てています。

イ 施設・作業所支援

施設・作業所支援のために作業所製品の校内販売を実施します。

開校日の毎週水曜日、生徒下校後に作業所が輪番で販売を行います。また、7月・12月には、作業所のオリジナル製品の販売（カタログ回覧、注文収集、販売支援）、11月には文化祭で販売の機会を設けています。その他、各種イベントの紹介や参加をしています。

ウ アフターケア

アフターケア計画に基づいて、担任や進路担当者が連携を取りながら卒業後の支援を行います。家庭への電話連絡、本人の様子確認、職場訪問、ハローワーク、就業・生活支援センター等との連携をとりながら進めています。

年に2回、報告会を行い、今後の支援について協議して取り組んでいます。

エ 同窓会サポート

本校高等部同窓会「くすのき会」を同窓会役員と運営します。会計の管理や同窓会会報の発行・発送などの活動も行っています。年間7回行われる役員会で、総会・親睦行事の計画をたて、8月・12月に同窓会を実施します。

卒業証書授与式後には、その年度の同窓会入会式を開催します。

オ コーディネーターの取組

○ 「地域生活・就労支援ネットワーク会」「高等部生徒就職支援連携会議」

取組報告や意見交換を通して、関係機関との連携や協力のあり方をより具体的な形でネットワーク化し、実践に生かします。

○ 「企業学校見学会」

企業に本校の教育内容を紹介します。見学や生徒との交流会を通して生徒への理解を深めてもらい、新たな職場開拓につなげます。

3 平成31年度 進路指導の全体計画

<普通科>

	中学部		高 1		高 2		高 3	
	生徒	保護者	生徒	保護者	生徒	保護者	生徒	保護者
4		中3進路研修会	進路に関する調査	進路説明会 進路に関する調査		進路説明会 職場体験実習説明会	職業相談(企業)	職業相談(企業) 進路説明会
5				進路研修会 (ガイダンス説明会)	職場体験実習(企業)	打合せ・見学・反省会 進路研修会：希望者 (ガイダンス説明会)	職場実習	打合せ・見学・反省会 進路研修会：希望者 (ガイダンス説明会)
6	中3進路希望調査 中3職場見学	中3進路希望調査	職場見学		職場見学(施設)			
7					職場体験実習(施設)	打合せ・見学・反省会 進路懇談		進路懇談
8							求職登録(企業)	求職登録(企業)
9	中3進路希望調査	中3進路希望調査			進路に関する調査 (企業)	進路に関する調査 (企業)		
10		中3高等部説明会	職場見学(企業)	高1・2合同 保護者職場見学		高1・2合同 保護者職場見学	合同面接会(企業)	合同面接会(企業) 進路研 (申請について)
11								進路に関する調査
12		中3進路懇談			職場体験実習(企業)	打合せ・見学・反省会	余暇体験学習 (校外学習)	福祉サービス 利用申請開始
1	中2職場見学		校内実習	校内実習見学	進路に関する調査	進路に関する調査		進路研修会
2			進路に関する調査	進路に関する調査 進路研修会(高1,2)		進路研修会(高1,2)		
3			進路面談	個別進路懇談		個別進路懇談	同窓会入会式	

平成31年度 進路指導の全体計画

<普通科 職業コース>

	職業コース 高1		職業コース 高2		職業コース 高3	
	生徒	保護者	生徒	保護者	生徒	保護者
4		進路説明会		進路説明会 職場実習2説明会	職業相談(企業)	職業相談(企業) 進路説明会
5	個別懇談		職場実習2(企業)	打合せ・見学・反省会	職場実習3(企業)再開	打合せ・見学・反省会
		進路研修会		進路研修会		進路研修会
6	職場見学					
7						
8					求職登録	求職登録
9			進路懇談	進路懇談		
10	職場見学 進路面談				合同面接会	合同面接会
11			職場実習3(企業)	打合せ・見学・反省会		
12	職場見学					
1	職場実習1(企業)	打合せ・見学・反省会				進路研修会
2						
3	進路懇談	進路研修会(高1、2) 進路懇談	進路懇談	進路研修会(高1、2) 進路懇談	同窓会入会式	

4 高等部進路学習

(1) 普通科

高等部第1学年は校内実習、第2学年は職場体験実習、第3学年は職場実習を大きな柱として学習を進めます。生徒一人一人のニーズに応じた内容と、卒業後の生活に向けて「学校」から「社会」へのイメージづくりの学習を次の観点で計画します。

- 卒業後の自分自身の進路について、見通しをもったり、考えたりすることができるような学習を設定する。
- それぞれの学習に系統性をもたせるように考慮し、1年生から段階的に積み上げていき、3年間を見通した配列とする。
- 学年全体での学習と課題別学習を効果的に取り入れる。

高等部第1学年：「自分を知る」

	I・II 類型	II・III 類型
1 学期	進路学習とは	
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1年間の学習の計画を知る。 <p style="text-align: center;">自分を知ろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の好きなこと、頑張っていること等を振り返り、将来の生活について考える。 <p style="text-align: center;">職場見学（施設・作業所）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 施設、作業所の見学や体験を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1年生の進路学習のテーマについて知る。 <p style="text-align: center;">自分を知り、仲間と知り合う</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分を振り返り、自分のやってみたい仕事について考え、友達と交流し合う。 <p style="text-align: center;">職場見学（企業・A型）①</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 仕事の見学を行う。
2 学期	<p style="text-align: center;">自分を知ろう②</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 体験活動などを通して、自分の好きなこと、苦手なことや将来の生活について考える。 	<p style="text-align: center;">職場見学（企業・A型）②</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ①とは違う職種で見学を行う。
3 学期	校内実習	
	<ul style="list-style-type: none"> ○ シイタケの菌打ち、ワープロ、食品加工、清掃、縫製、軽作業などの種目別グループで実習を行う。 <p style="text-align: center;">余暇活動について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 交流体験や余暇活動体験などを行う。 <p style="text-align: center;">1年生のまとめ</p>	<p style="text-align: center;">余暇活動について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 社会人講師などから余暇利用について学ぶ。 <p style="text-align: center;">高2先輩から学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 高2の先輩から職場体験実習の話聞く。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 1年間の学習のまとめを行う。 ○ 進路面談（企業・A型希望者）

高等部第2学年：「社会へチャレンジ」

	I・II類型	II・III類型
1 学 期	<p>2年生の進路学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 1年間の学習の予定を知る。 <p>職場体験実習の事前学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 職場体験実習の予定を知り、目標を立てる。 <p>職場見学（施設・作業所・デイサービス） ※ I類・重複</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 施設・作業所等の見学や体験をする。 <p>職場体験実習（施設・作業所）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 施設、作業所での実習を行う。 	<p>職場体験実習（企業・A型）</p>
2 学 期	<p>職場体験実習の事後学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 実習を振り返り、今後の学校生活の目標を立てる。 <p>職場体験実習報告会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分や友達の実習の様子を見て頑張ったところを評価し合う。 	<p>職場体験実習（企業・A型）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 1回目の企業実習の評価から、次の実習を行うかどうかを検討し、必要に応じて2回目を行う。
3 学 期	<p>余暇活動について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 交流・スポーツ体験などを行う。 <p>高3の先輩から学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 高3の先輩から職場実習や進路選択についての話を聞く。 ※ 生徒の実態や進路希望によって、取組の形態・内容を考えていきます。 <p>2年生のまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 1年間の学習のまとめを行う。 	

高等部第3学年：「卒業後の生活に向けて」

	I・II 類型	III 類型
1・2 学期	職業相談に向けて（一般就労希望者） ○ 「自分のプロフィール（履歴書）」を作る。	
	3年生の進路学習 ○ 1年間の学習の予定を知る。 ○ 卒業生から学ぶ。 ○ 余暇活動の体験。	
	職場実習の事前学習 ○ 職場実習の予定を知り、目標を立てる。 ○ 実習先でのマナーについて知る。	
	職場実習 ○ 希望する進路先で実習を行う。	
	職場実習の事後学習 ○ 実習を振り返り、卒業後の進路を考え社会生活に向けて学校生活の目標を立てる。	
	職場実習報告会 ○ 自分や友達の実習の様子を見て、頑張ったところを評価し合う。	
3 学期	卒業後の生活を考えよう ○ トレーニングジムや福祉センターの利用の体験を通じて、余暇の過ごし方を学ぶ。	卒業後の生活を考えよう ○ 卒業生から卒業後の話を聞く。
	同総会について ○ 同窓会の入会の案内と活動内容について知る。	
	3年間のまとめ ○ 3年間の学習のまとめを行う。	

(2) 普通科職業コース

高等部第1学年から職場実習を実施し、業種の選択、就職先の決定に向けて実習を重ねていきます。生徒一人一人が自分の進路を考え、決定していく上で必要な力を高めるために、進路学習の内容を段階的に進めていきます。さらに卒業後の生活にスムーズに移行し、安定した生活を送ることができるよう次の点を考慮して職業の時間に取り組んでいます。

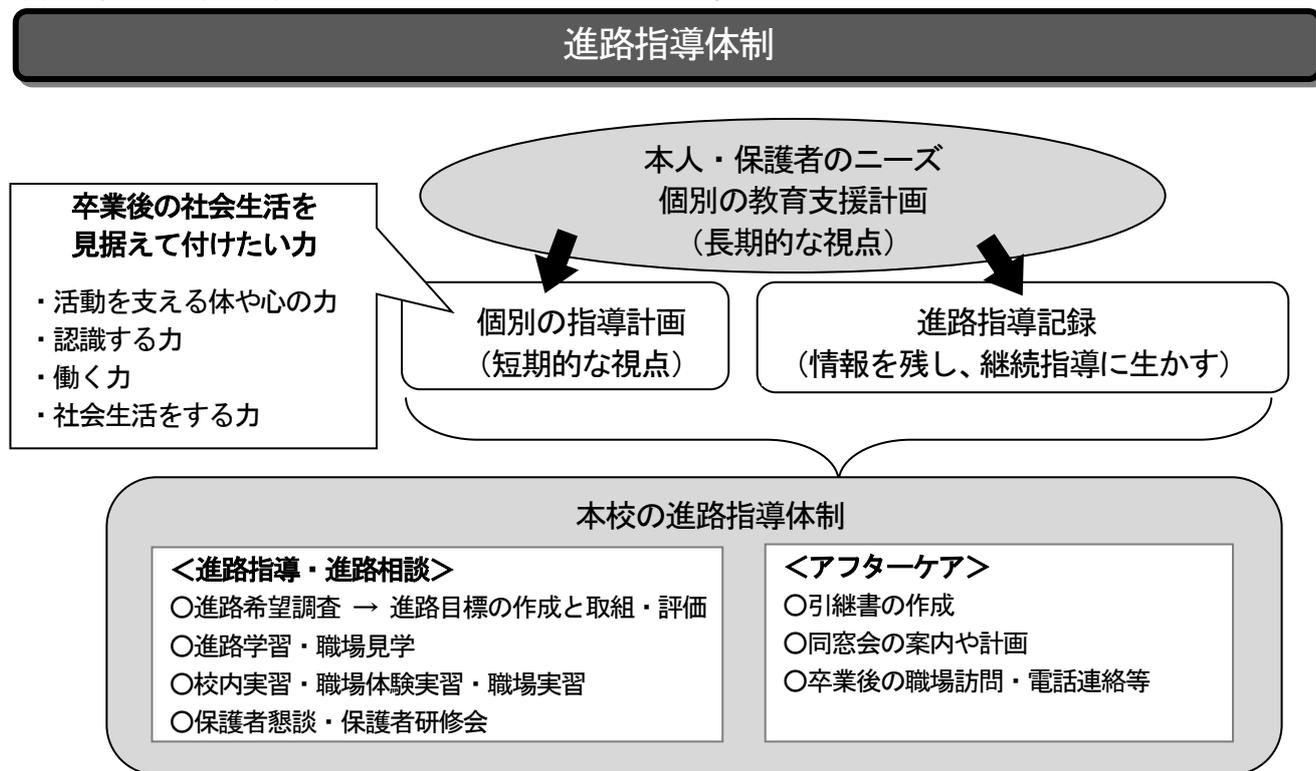
- 働くことの意義を理解し、学習に取り組む中で働く喜びを感じさせる。
- ビジネスマナーや接客の基礎を理解してコミュニケーション能力を高める。
- それぞれの学習に系統性をもたせるように考慮し、1年生から段階的に積み上げて3年間を見通した配列にする。
- 職業コース全学年での学習や職業コース学年単位での学習、課題別学習を効果的に取り入れて進路学習を展開する。

	第1学年	第2学年	第3学年
1 学 期	進路学習とは ○1年間の学習の予定を知る。		
	自分を知ろう ○ 自分の好きなこと、頑張っていること等を振り返り、将来の生活について考える。	職場実習2 事前学習 ○ 自分を振り返り、自分のやってみたい仕事を考えて、必要な力を考える。 ○ 面接練習を行う。 ○ 自分の進路について真剣に考えることの大切さを知り、適切な目標を設定する。	進路決定に向けて ○ 就職決定までの流れについて知る。 ○ 求職申込書・履歴書作成を行う。 ○ 就職相談を行い、自分の進路希望を明確にする。
	職場見学① ○ 職場見学のマナーを習得する。 ○ 職種と仕事内容を理解する。		職場実習3 事前学習 ○ 服装、身だしなみを整える。 ○ 進路希望を踏まえて目標設定を行う。
		ビジネスマナー① ○ 面接の基本を理解し、服装と態度、自己表現方法を理解する。	校内接客販売 ○ 接客の基礎技術を生かし、校内喫茶運営で発揮する。
	接客の基礎 ○ 接客に必要な心構えと技術を理解する。	接客の基礎 ○ 接客に必要な心構えと技術を実践的に学び、身に付ける。	ビジネスマナー① ○ 求職登録を意識しながら、面接の基本を実践的に学ぶ。

2 学 期	<p style="text-align: center;">ビジネスマナー①</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 言葉遣いや敬語を学習し、職場で良く使う言葉を練習する。 	<p style="text-align: center;">ビジネスマナー②</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 面接の基本を身に付ける。 ○ メモの取り方を習得する。 ○ 仕事における責任について理解する。 	<p style="text-align: center;">ビジネスマナー②</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 服装、身だしなみを学び、理想的な社会人を目指そうという意欲を高める。
	<p style="text-align: center;">職場見学②</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 職場見学のマナーを習得する。 ○ 職種と仕事内容を理解する。 	<p style="text-align: center;">校内接客販売</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 接客の基礎技術を身に付け、校内喫茶運営で発揮する。 	
	<p style="text-align: center;">ビジネスマナー②</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 仕事を効率よく行うために必要な協調する力について理解する。 ○ 面接練習を行う。 	<p style="text-align: center;">職場実習 2 事後学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 職場で求められた力について考える。 ○ 自分の進路を考える。 	<p style="text-align: center;">職場実習 3 事後学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 実習を振り返り、自分に必要な力を再認識して日常生活でも意識することの大切さを理解する。
	<p style="text-align: center;">職場見学③</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 職場見学のマナーを習得する。 ○ 職種と仕事内容を理解する。 		<p style="text-align: center;">ビジネスマナー③</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 職場でのトラブルへの対応を学び、ロールプレイを繰り返してトラブル対応への自信をもつ。
	<p style="text-align: center;">職場実習 1 事前学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の進路を考える気持ちを高めて目標を設定する。 	<p style="text-align: center;">ビジネスマナー②</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 面接の基本を理解し、望ましい服装と態度、正しいコミュニケーションを理解する。 	
	<p style="text-align: center;">接客の基礎</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 接客に必要な心構えと技術を理解する。 		<p style="text-align: center;">健康管理・余暇</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方について理解を深める。
3 学 期	<p style="text-align: center;">校内接客販売</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 接客の基礎技術を身に付け、校内喫茶運営で発揮する。 	<p style="text-align: center;">職場実習 3 事前学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 面接練習を行う。 ○ これまでの実習や取組を振り返り、ステップアップした目標を設定する。 	<p style="text-align: center;">3年間を振り返る</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の進路決定に向けての取組を振り返り、自己有用感を高める。
	<p style="text-align: center;">職場実習 1 事後学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 実習における目標の達成割合を自己評価し、今後の自分の目標を設定する。 		<p style="text-align: center;">卒業生から学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 卒業生の話から、卒業後の安定した生活に必要な力を知る。
	<p style="text-align: center;">先輩から学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 3年生から3年間の取組の成果を聞く。 ○ 自分を振り返り、進路決定に向けて取り組む意欲を高める。 		<p style="text-align: center;">進路報告会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の進路決定を報告することで達成感をもつ。 ○ 自分の進路決定への行程を確認し、後輩が意欲をもって進路決定に取り組めるようアドバイスをする。

5 高等部進路指導を支える支援計画とネットワーク

本人が願う将来の生活や大人像の実現に向けて、進路指導部が中心となり、必要な関係機関と連携して地域生活・就労支援を行い、社会資源とのネットワークづくりをします。



進路指導を支えるネットワーク

地域生活を支える

卒業後の進路選択に向けて、施設・作業所での職場実習を行います。また、各施設・作業所や広島市の福祉サービスの利用について地域生活支援事業の情報提供や相談を行います。

- **地域生活・就労支援ネットワーク会**を実施し、関係機関と連携しています。

福祉制度利用に向けて

福祉制度利用についての保護者向け研修を実施します。また、広島市自立支援課と連携し、能力開発校の見学の開催や就労継続支援A型事業所や就労移行支援事業所の見学会の広報をします。

一般就労を支える

企業・就労継続支援A型事業所への就労に向けて、職場開拓や実習依頼等を行います。また、ジョブサポートティーチャー（JST）による面談を実施し、担任と共に進路選択に向けた相談・指導を行います。

- **就職支援連携会議**を実施し、関係機関と企業就労に関する情報交換を行います。

JST (Job Support Teacher) とは?

企業開拓、ハローワークとの連携など、企業や教員と連携をとりながら一般就労希望生徒の進路指導をサポートします。

関係機関

- 相談支援事業所：生活支援や福祉サービス利用のための相談等
- 施設・作業所：卒業後の進路先
- 社会福祉協議会：地域生活支援事業の利用窓口
- 市町村（福祉課等）：障害福祉サービスの利用窓口

関係機関

- ハローワーク：求職登録、就職後の定着指導
- 障害者職業センター：職業評価・職業準備訓練
ジョブコーチ支援制度
- 就業・生活支援センター：就職後の定着指導、生活支援

学 年		高2	高 3				卒業後	
進路の取組	時期	3学期	1学期	夏休み	2学期	3学期	アフターケア	
	関係機関と連携内容	普通科	職場体験実習 職業相談準備	職場実習 職業相談		* 合同面接会		
		普通科 職業コース	職場実習3 職業相談準備	職業相談		* 合同面接会		
ハローワーク広島 (中区・西区対象)	生徒の希望職種等の把握 職場の紹介		○職業相談	○求職登録	職場実習先訪問	引継会	企業訪問	
ハローワーク広島東 (安芸区・東区・南区対象)	求職登録 職場実習先の訪問(状況把握)			* 合同面接会申込み	反省会参加			
広島県障害者職業センター	職業評価 就労支援の研修 スムーズな移行のための支援			* 職業評価 (職業準備支援)		* 登録	* ジョブコーチ 支援	
広島障害者 就業・生活支援センター (中区・西区対象)	職場実習先の訪問(状況把握) スムーズな移行のための支援 定着支援		○職業相談 ○登録		職場実習先訪問	引継会	企業訪問	
広島東障害者 就業・生活支援センター (安芸区・南区・東区対象)	職場実習先の訪問(状況把握) スムーズな移行のための支援 定着支援		○職業相談 ○登録		職場実習先訪問	引継会	企業訪問	
相談支援事業所	生活や福祉制度にかかわる支援	必要に応じて随時						

6 生活支援・就労支援ネットワークの昨年度の取組

関係諸機関とのネットワークを活用し、本人・保護者への支援が行えるように以下の会を設定します。各会での成果を家庭や学校での取組に生かしていきます。

(1) 生活支援相談会

7月に7箇所の相談支援機関の方に相談支援者となっていただき、本校の保護者や担任を対象に、生活支援に関する相談や情報提供などを行う場として第10回生活支援相談会を実施しました。

相談支援機関

障害者支援施設いくせい 育成会相談支援センター
障害者生活支援センター めーぷる
瀬野川学園障害者相談支援事業所
相談支援事業所 光清学園
広島市こども療育センター 地域支援室
(社福)おりづる おりづる作業所
(社福)もみじ福祉会 もみじ作業所
(社福)安芸の郷 森の工房
(社福)交響 きつつき共同作業所

[相談者の所属] 訪問学級0件 小学部9件 中学部8件 高等部23件 計40件

[相談内容の内訳] (重複あり)

・生活上の困りごとについて	13件 (小:3 中:1 高:9)
・福祉サービスの利用の方法について	20件 (小:9 中:7 高:11)
・障害者基礎年金について	22件 (小:5 中:4 高:13)
・障害支援区分について	11件 (小:2 中:1 高:8)
・卒業後や将来の生活について	16件 (小:2 中:2 高:12)

保護者アンケートより

「将来を見据えることができ、卒業後の不安が少し軽減した。」
「卒業後の移動支援やヘルパーのことを聞いていただき、気にしていたことの負担が少し減って今後のことも考えてもらえるので助かった。」
「障害基礎年金の手続きの流れについて知ることができた。サポートファイルの重要性も分かったので、少しずつ取り組んでいきたい。」
「娘の成長や親が困っていることに気付けると感じた。それぞれの内容について答えていただき感謝している。」

(2) 地域生活・就労支援ネットワーク会

2月に、生活支援や就労支援を行っている9箇所の施設や相談支援機関から施設長、相談員を招き、PTA役員に御参加いただき、地域生活・就労支援ネットワーク会を行いました。

参加施設・相談支援機関

<施設> (社福)おりづる おりづる作業所 (社福)もみじ 第一もみじ作業所
(社福)安芸の郷 森の工房 (社福)交響 きつつき共同作業所

<相談支援機関> 生活支援相談会に参加された5箇所の機関

- <内容>
- 生活支援相談会の報告
 - 今年度の進路状況報告
 - 高等部生徒の進路希望状況報告
 - 自傷、他傷、強いこだわり等、特に配慮が必要な生徒の進路について

相談支援事業所や施設の方々から「強いこだわり等、特に配慮が必要な生徒の進路について」学校でどのように取り組んでいけばよいか、アドバイスをいただきました。表面に表れる行動に注目しがちですが、その行動の背景や根本にある思いを分析すること、見方を変えて「本人が生き生きする活動や時間」に着目して、小学部から中学部、高等部へと連携して取り組んでいくことの大切さなど、参考になる御意見を多く伺うことができました。また、相談機関との連携を通して地域とつながっていく大切さを、改めて考えることができました。

(3) 高等部生徒就職支援連携会議

2月、高等部生徒の企業就労を支援し推進していくために、公共職業安定所、支援機関や教育委員会関係部署から参加していただき意見交換を行いました。

参加機関

ハローワーク広島 ハローワーク広島東
広島障害者職業センター
広島障害者就業・生活支援センター
広島東障害者就業・生活支援センター
広島市健康福祉局障害福祉部障害自立支援課

<内容> 『高等部第3学年の進路状況について』
『高等部第2学年の進路状況について』
『卒業生のアフターケア状況報告』

<意見交換>

- 離職の実態とその取組について

離職の問題や個々の生徒の課題について、在学中あるいは入社後から学校や関係機関が連携して情報が得られるようなシステムがあればよい等の意見が出され、生徒の職場定着のため、今後も関係機関と連携をとりながら進路指導を進めていくことを確認しました。

助言や情報提供を参考に関係機関と連携を図り、取組を進めていきます。

7 企業開拓

「働きたい!」という生徒の願いがかなうよう、実習先を開拓する活動を続けています。

(1) 夏季企業開拓実施

平成24年度から広島県特別支援学校就職支援プロジェクト事業の一環として本校にもJST（ジョブサポートティーチャー）が配置されました。現在2名のJSTが常勤して就労を希望する生徒の社会参加を目指して就職支援をしています。生徒、担任との連携を大切にしながら適性を考え、支援方法を示します。

夏季企業開拓では、進路指導部・高等部全学年の教職員がグループに分かれて本校の紹介（見学会案内）とインターンシップ（体験実習）先の確保を目的にして取り組んでいます。教職員の社会的見識を高めるという意味でも大きな成果を上げています。開拓した企業に対してはJSTに引き継いで連携を深めていきます。

過去4年間の実績は次のとおりです。

年度	開拓参加人数	訪問件数	開拓実現件数
平成27年度	6名	28社	17社+A型5事業所
28年度	11名	63社	34社
29年度	17名	73社	44社
30年度	29名	64社	49社

(2) 支援内容を明確にする

企業の方は、生徒にどのような指示をしたらよいのか、対応の仕方に戸惑われることがあります。生徒が自分の能力を十分に発揮できるよう、開拓時には職場における支援のポイントについて次のように理解を求めています。

支援のポイント

あいまいな表現での指示が苦手

適当?

適当にぬって…



「適当に」「きちんと」「もう少し」「あの…」「あそこに」などの曖昧な表現が苦手です。

こうやって
この位の量で…



見本や実演を示して、視覚的に情報提供することで、指示どおりの仕事に近づけます。

同時に複数のことを言われることが苦手

何から始めたらいいのかなあ

2枚をセットして封筒に入れて、20ずつセットして切手も貼ってね。



混乱してすべき仕事を忘れてしまうことがあります。
優先すべき仕事の判断や段取りが苦手。ミスにつながります。

2枚をセットして封筒に入れてください。それがすんだら報告してください。10時までにお願いします。

急いでやらなきゃ



優先順位の明確な指示で、的確に仕事ができます。かどります。
期限を伝えることで、集中力が高まります。

担当者を明確にすることで安心

聞きたいけどみんな忙しそう。誰でもいいよって言われたけど…困ったなあ



分からないことを聞こうとしても遠慮してしまい、聞けないまま、仕事が止まってしまいます。

分からないことや困ったことがあったら、いつでも私に聞いてくださいね。

聞く人が決まっていると安心して働ける



担当者をはっきりと伝えておくと、迷ったことを迅速に解決し、仕事がかどります。

人に都合や場の雰囲気配慮することが苦手

今は、お客様が
いらっしゃるん
だけど……

ちょっと、
すいません。
次は何を
しましょうか？



相手の都合や雰囲気を感じて行動することが苦手です。一生懸命になるほど余裕がなくなってしまう。

お客様がいらしても
「今、聞いてもよろ
しいでしょうか。」
と、聞いてくれたら
いいですよ。

はい。
わかりました。



クッション言葉を決めておいて、都合を聞いたり自分の行動を判断したりすることができるようにしておくといいでしょう。

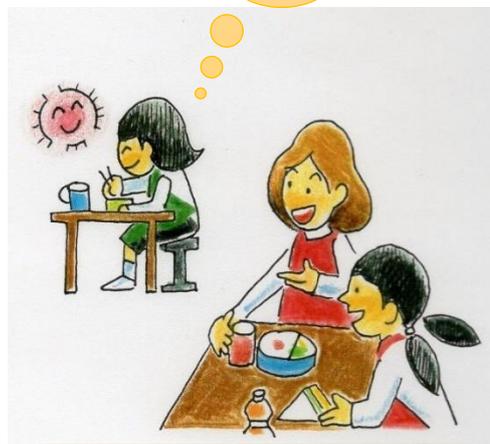
休憩時間の過ごし方への配慮

何か話さないと……



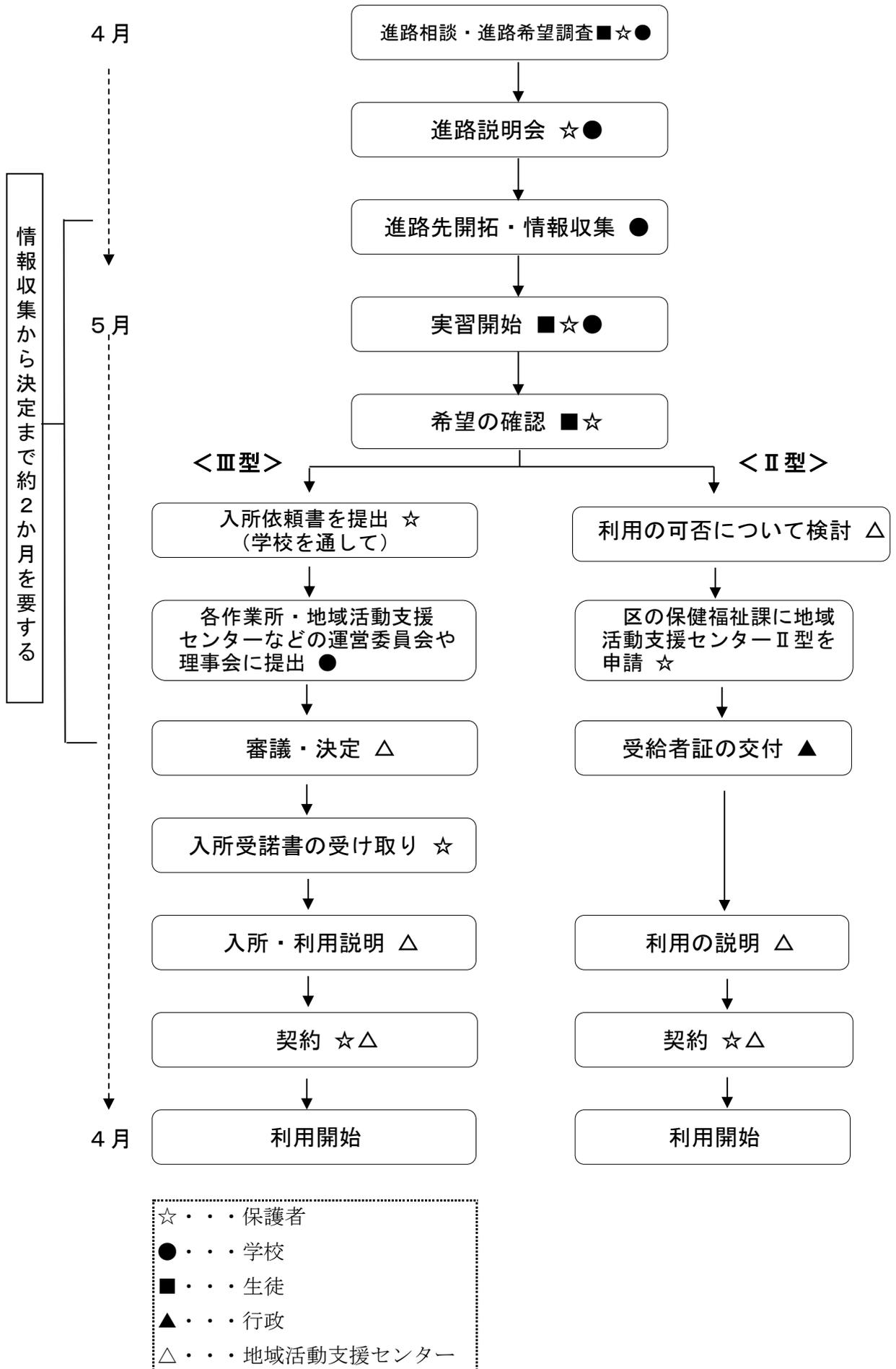
たくさんの人の中で話すことが苦手に感じる場合があります。

食べたら、何を
しようかな♪



一人の時間を楽しむことで、その後の仕事に集中できることがあります。

(2) 地域活動支援センターⅡ型・Ⅲ型の利用までの流れ



9 個別の移行支援計画

進路の取組を教育支援計画に記録し、次年度に継続した取組が行えるように引き継いでいきます。

高等部第3学年では、進路先へのスムーズな移行のために教育支援計画を基に引継書を作成し引継会で役立てています。

この書式は、相談支援事業所や諸機関への提出の際にも活用していただけるようにしています。

資料2 (書式)

個別の移行支援計画 引継書					
広島市立広島特別支援学校 校長 ○ ○ ○ ○ (第3学年担任)					
生徒氏名		性別	男・女	生年月日	平成 年 月 日
住所	広島市			電話	
保護者氏名				緊急連絡先	
療育手帳		身体障害者手帳	級・無	精神障害者保健福祉手帳	級・無
○ 本人について					
項目	本人の様子	今までの取組と配慮事項			
読み・書き 数・量					
道具の使用 作業					
安全危険認知					
自律・自己調整					
日常生活					
意思表示 意志伝達理解					
対人関係					
医療・健康					
社会参加					
○ 卒業後の支援・相談機関					
広島市立広島特別支援学校 南区出島四丁目1番1号 (082) 251-7101 * 利用しているサービスや相談機関・医療機関等の名称連絡先等を記載する。					
* この引継書を卒業後の移行支援に役立てることに同意します。					
令和 年 月 日 保護者氏名 印					

10 昨年度の進路状況から

(1) 平成30年度卒業生の進路先について（資料3参照）

卒業生85名の進路先は、企業31名、就労継続支援A型1名、訓練機関2名、就労移行支援4名、就労継続支援B型23名、自立訓練5名、生活介護18名、支援施設1名、在宅が4名となっています。（併用も含む）

(1) 進路先別の取組について

ア 一般就労について（企業・就労継続支援A型）

- ・ 希望職種と本人の適性を見極めが大切です。
 - 雇用条件（就業時間等）や職場環境（広さ・音・匂いなども）の確認も必要です。
- ・ 1社を絞り込んで実習を実施します。
 - 企業によっては、条件を変えて2回目、3回目と実習をすることもあります。
 - 暑い時期、寒い時期、卒業後の就業に近い時間や開始・終業時刻（早朝など）を想定した実習をすることもあります。
 - 1社で決まらなければ、2社目・3社目の見学や実習を行います。
 - 10月までに内定が得られない場合は、合同面接会への参加も検討します。

イ 福祉就労について（生活介護、就労継続支援B型、地域活動支援センターⅢ型等）

- ・ 「第1希望」に絞り込んで実習をします。
 - 3年生は体験ではありません。卒業後の通所を希望するところで実習をします。
 - ★ 1・2年生の職場見学や体験やイベントの参加を有効に生かしてください。
 - 施設の方針・・・施設・作業所は、それぞれに運営方針が違います。
 - 3者の意思確認・・・本人・保護者の希望と実習先の受け入れが一致するかどうかを確認します。自己決定が重要です。
- ・ 障害支援区分
 - 生活介護の利用・・・「障害支援区分3以上」が条件。
 - 審査・・・・・・・・・・18歳の誕生日を迎えた時（福祉サービス利用生徒）
12月の利用申請後（福祉サービスを利用していない生徒）
 - 区分判定が1または2の場合は、生活介護の施設利用はできません。
 - 日常生活で困っていること、実際に必要とする支援内容を細かく把握して、審査の際に伝えていくことが大切です。
- ・ アセスメント実習
 - 就労継続支援B型事業所希望者は、就労移行支援事業所で3日間の実習を行います。
 - 学校主体の実習ではありませんので、送迎や実習中の引率は保護者となります。
 - 評価表を受けとり、施設・作業所利用申請の際に提示します。相談支援事業所は、本人支援やサービス等利用計画作成の参考にします。

本人・保護者そして担任・進路担当者がしっかりと話し合っ進めていくことが大切です。

令和元年5月1日現在

種別	生徒数	進路先	人数	進路先	人数
企業	31	○食品製造・調理補助・食器洗浄	7	○清掃	6
		○部品製造	4	○ピッキング	4
		○事務補助	3	○運送、メール便	2
		○小売店（商品陳列、食品加工）	2	○設備管理補助	1
		○分別・運搬	1	○建築補助	1
就労継続支援 A型	1	ひまわりくらぶ広島			1
訓練機関	2	広島障害者職業能力開発校	1	広島総合教育専門学校	1
就労移行支援	4	LITALICOワークス広島紙屋町・広島横川			2
		RING			1
		広島障害者雇用支援センター			1
就労継続支援 B型	23	HAP-B	4	りらくす中央	4
		よこがわ	2	ふるーる	2
		広島南作業所	2	第三もみじ作業所	1
		メロディ	1	すまいる☆スタジオ	1
		なないろ作業所	1	SOARきつつき	1
		ゆう香くらぶ	1	いしうちの森	1
		セルプ宇品	1	SAORI hands 広島	1
自立訓練	5	まなびキャンパスひろしま			4
		育成会自立訓練事業			1
生活介護	18	LATOあゆむ	3	ひといき作業所	2
		広島作業所	2	りらくす中央	2
		柏の実苑	1	あおぞら	1
		りらくす五日市	1	第一もみじ作業所	1
		あべに～る十日市	1	アイラブ作業所	1
		ほーぷデイサービスセンター	1	広島市皆賀園	1
		広島市東部障害者デイサービスセンター			1
支援施設	1	広島県リハビリテーションセンター			1
その他	4	在宅			4
合計	89	* 卒業生85名中複数利用4名を含む			89

(3) 就労への取組

就労に必要な力・家庭で取り組めること

働く意欲(気持ち)
働きたい
自立したい
毎日の通勤
時間いっぱい取り組む
仕事と休憩の切り替え

公共交通機関の利用
電車・バス・JRの利用
乗り換え
パスピー・ICOCAの利用
残額の理解とチャージ

コミュニケーション
感謝の気持ち
挨拶・返事 「おはようございます」 「すみません」「はい」
話を聞く
礼儀・マナー
報告 連絡 相談

基本的な生活習慣
早寝・早起き
身だしなみ
入浴・洗髪
時間を守る
衣服の準備
健康管理・薬の管理

自宅での手伝い
掃除
洗濯物干し・洗濯物畳み
料理・食器洗い

職業適性

職種	仕事内容	主に求められる力
スーパー 小売り・販売	バックヤード 品出し 接客	コミュニケーション 衛生 身だしなみ 挨拶 笑顔 お客様対応
物流・運送 メール便	仕分け・運搬	暑さ・寒さに強い 地域・地名・漢字・ローマ字の理解 体力や腕力(重い荷物) 安全面の意識
製造系・食品	食品加工・洗浄	体力 衛生 排便リズム(検便のために)
部品製造系	組立等	体力・腕力 繰り返しの単純作業への集中力 構造や手順の理解
病院・介護	清掃・洗濯等	衛生 体力 衣服類をたたむ 多種類の仕事への対応 挨拶 笑顔 コミュニケーション
清掃	清掃	体力 早朝出勤 場所ごとの清掃手順や道具操作の理解
クリーニング	洗濯	暑さに強い 体力 安全面の意識
ホテル	清掃・調理補助 リネン	衛生 体力 コミュニケーション
事務系	パソコン 事務補助等	コミュニケーション パソコン(エクセル) 挨拶や応答 ※電話対応

1.1 アフターケアの取組

(1) 卒業後のアフターケアの進め方（社会への移行計画）について

- ・ 卒業生を支援するために定期的にアフターケアを行います。
- ・ 地域生活や就労先で課題が生じたときに、家庭・進路先・関係機関と連携を図り、実態把握や課題解決に取り組みます。
- ・ 相談の内容や取組の進展状況などが次に生かされるよう、教職員を対象にアフターケア報告会を実施します。
- ・ アフターケアを通して課題を把握し、今後の進路指導や教育実践に生かしていきます。

○ 卒業後1年目の取組

時期	生活介護・B型・移行支援・地活Ⅲ型等	企業就労・A型	能力開発校・職業訓練事業
5月	家庭への電話連絡（進路先連絡・訪問）		
6月		進路先連絡 （進路先訪問）	
8月	進路先訪問 <定例の同窓会>		
10月	<教職員>アフターケア報告会（家庭への電話連絡・進路先への連絡）		
11月		進路先への連絡	
12月	<定例の同窓会>		
2月	家庭への電話連絡（進路先への連絡）		
3月	<教職員>アフターケア報告会		進路状況の把握

*（ ）は状況に応じて行います。

○ 卒業後2年目の取組

時期	生活介護・B型・移行支援・地活Ⅲ型等	企業就労・A型
5月	（同窓会案内）	
8月	<定例の同窓会>	
		進路先訪問
12月	<定例の同窓会>	

*進路先変更などの課題が生じた場合は、随時アフターケアを行います。

*同窓会の返信はがきにより、状況を把握します。

○ 卒業後3年目以降の取組

- ・ 同窓会案内にアンケートを同封し、状況の把握を行います。
- ・ 進路先変更などの問題が生じた場合は、随時アフターケアを行います。

卒業後に何か困ったことがあったら…

ケースによって課題解決の方法は様々ですが、家庭で抱え込まず問題が小さいうちに相談をしてください。

○広島市立広島特別支援学校（担任・進路担当） ○進路先 ○支援機関 ○相談支援事業所

(2) アフターケアを通して

< 就労を支えるために >

卒業後は、学校とは全く違う環境でのスタートとなります。最初は、緊張の連続です。疲れて帰ってきたときに発信できる場、そしてそれを受け止めてくれる場が必要です。

仕事や生活に慣れてくると、出勤時間の遅れや家庭での態度に表れてくる場合もあります。本人の信号に気づいて支援をしたり、進路先や支援機関と連携をとったりするなどして、家庭で本人をしっかり受け止めてください。家庭の役割は、大変重要です。

- 規則正しい生活リズム・・・早めの起床・就寝
- 遅刻をしない・・・遅刻や欠席の場合は、必ず連絡をする。
- 身だしなみ・・・入浴・洗髪、爪切りひげそりなど
- 服装・・・季節にあったもの 職場にふさわしいもの
- ハンカチ、ティッシュ・・・自分で準備をする。
- 更衣室や化粧室の使い方・・・衣服を掛ける、畳む、手を洗うなど
- あいさつや報告（敬語）・・・おはようございます。すみません。ありがとうございます。失礼します・・・など

< 豊かな生活のために >・・・仕事と楽しみなこと（余暇）の切り替え

バスや電車・JR の利用、また、乗り換えなどの経験をしておくと、通勤や通所がスムーズに行えるだけでなく、余暇活動の幅も広がります。

また、緊急時の対応を本人と確認し、連絡方法や連絡先なども準備をしてください。

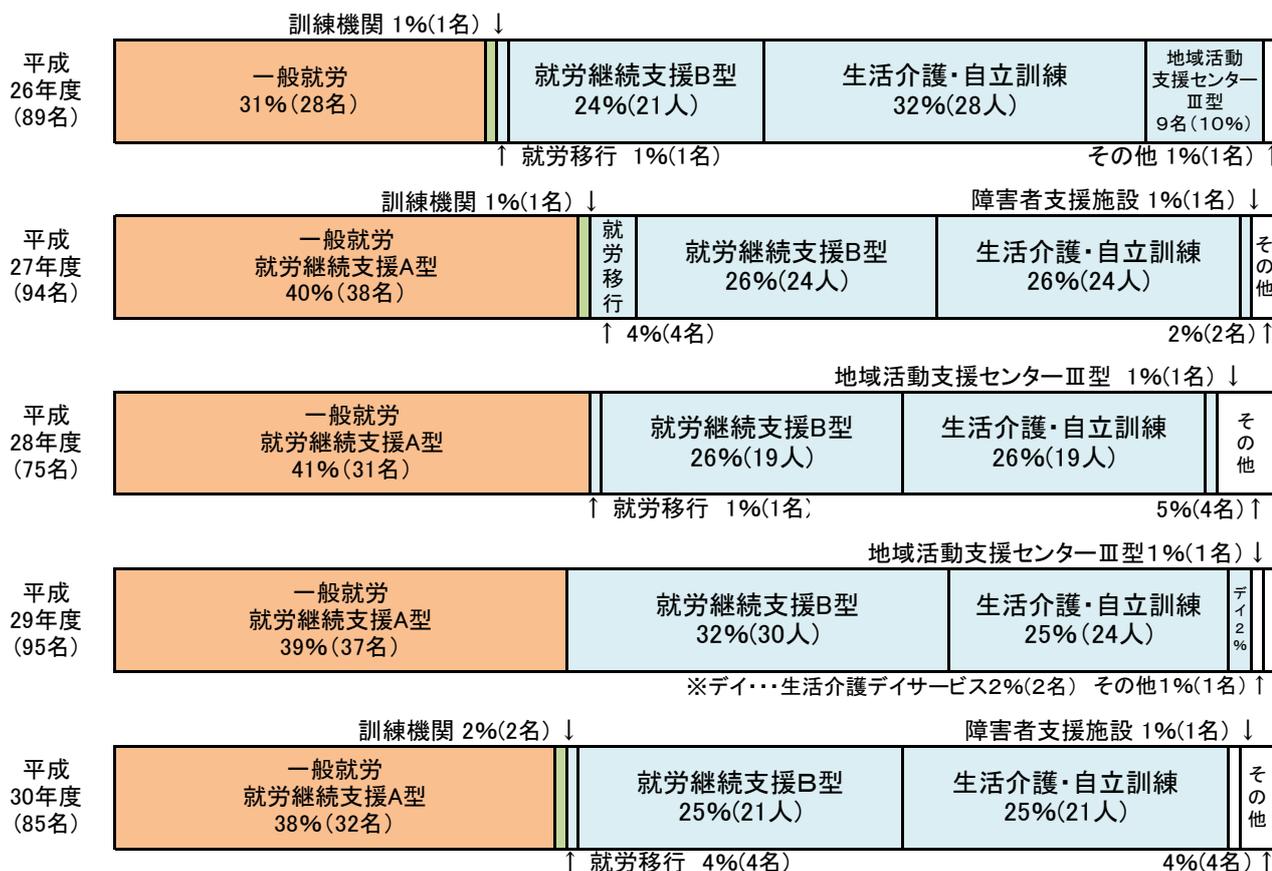
- 行き先や時刻表を見て乗ることができる。
- パスピー・ICOCA の利用。チャージ方法。
- 緊急時の連絡方法。
- 携帯電話・スマホの利用。GPS 機能の活用。支援カードの提示など。

< 大切にしたい視点 >

自分で考える、自分で決めるという姿勢が、仕事や活動を続けるためにも大変重要だと考えています。在学中から学習や生活の中で大切にしたい視点です。

- 自分自身について考える。
- 自分で選択する。自分で決める。
- 実現に向けて、努力する力を育てる。

高等部卒業生の進路状況



平成30年度卒業生の進路状況内訳

種別	生徒数	具体的な進路先
生活介護	18名	あおぞら、第一もみじ作業所、広島市皆賀園、柏の実苑 広島作業所、あべに～る十日市、りらくす中央、リラックス五日市 ひといき作業所、アイラブ作業所、Latoあゆむ 広島市東部障害者デイサービスセンター
自立訓練	5名	まなびキャンパスひろしま、育成会自立訓練事業
就労継続支援B型	23名	SOAR きつつき、セルプ宇品、リラックス中央、SAORI hands 広島 広島南第2作業所、HAP-B、ふるーる、ゆう香くらぶ メロディ、よこがわ、第三もみじ作業所、なないろ作業所 いしうちの森、すまいるスタジオ
就労移行支援	4名	LITALICOワークス広島紙屋町、LITALICOワークス広島横川 広島障害者雇用支援センター、RING
就労継続支援A型	1名	ひまわりくらぶ広島
訓練機関	2名	障害者職業能力開発校、広島総合教育専門学校
企業	31名	○清掃、食器洗浄 ○食品製造、調理補助 ○部品製造 ○ピッキング、分別、運搬 ○運送、メール便 ○小売店(商品陳列、食品加工) ○事務補助 ○設備管理補助 ○建築補助
支援施設	1名	広島県リハビリテーションセンター
その他	4名	在宅

※ 卒業生85名中、複数利用4名を含む

(3) 広島市が行う地域生活支援事業

事業名	概要など	備考
地域活動支援センター	・ 専門職員（精神保健福祉士等）を配置し、医療、福祉及び地域の社会基盤との連携強化のための調整、地域住民ボランティア育成、障害に対する理解促進を図るための普及啓発 ・ 相談支援事業を併せて行う。	〔対象者〕 15歳以上の身体障害者(児)、知的障害者(児)、精神障害者(児) 〔利用手続き〕 事業者と契約を交わし利用
	・ 就労困難な在宅の障害者を対象に創作的活動、社会との交流促進、機能訓練、社会適応訓練などのサービスを提供する。	〔利用手続き〕 居住区の保健福祉課に申請し、受給者証の交付を受けた後に事業所と契約して利用
	・ 一般就労することが困難な障害者(児)に共同作業の場を設けて仕事を提供し、技能習得訓練や生活指導等を実施する。	〔対象者〕 15歳以上の身体障害者(児)、知的障害者(児)、精神障害者(児)、難病患者等 〔利用手続き〕 事業者と契約を交わし利用
日中一時支援事業	・ 家族の就労支援及び一時的な休息等のために、障害者(児)を障害福祉サービス事業所や障害者支援施設などで、日中一時的に預かって、見守り等のサービスを実施する。	〔対象者〕 身体障害者(児)、知的障害者(児)、精神障害者(児)、難病患者等 〔利用できる日数〕 原則、月7日（4時間未満は0.5日） 〔利用手続き〕 居住区の保健福祉課に申請し、受給者証の交付を受けた後に事業所と契約して利用
移動支援事業	・ 障害者(児)が円滑に外出することができるように支援する。 ・ 障害児の保護者が入院した場合など一時的な場合に加え、通学・通所の支援については、障害児の保護者が就労する場合についても利用できる。 ・ 月に80時間を上限とする。 ※社会参加支援ガイドヘルパーの派遣を併せて利用する場合、合わせて月80時間を上限とする。	〔対象者〕 全身性障害者(児)、肢体不自由者(児)、視覚障害者(児)、知的障害者(児)、精神障害者(児)、難病患者等 〔利用手続き〕 居住区の保健福祉課に申請し、受給者証の交付を受けた後に事業所と契約して利用
社会参加支援ガイドヘルパー派遣事業	・ 障害者(児)が外出等社会参加活動をするとき、市民ボランティアの社会参加支援ガイドヘルパーを派遣し付添介助を行う。 ・ 月に80時間を上限とする。 ※移動支援を併せて利用する場合は、合わせて月80時間を上限とする。	〔対象者〕 肢体不自由者(児)、視覚障害者(児)、知的障害者(児)、精神障害者(児) 〔利用手続き〕 居住区の社会福祉協議会へ利用登録を申込
その他の事業	相談支援（関係機関との連絡調整、権利擁護など） 意思疎通支援（手話通訳者、要約筆記者・奉仕員派遣など） 福祉ホーム 訪問入浴サービス 更生訓練費・施設入所者就職支度金 知的障害者生活自立訓練 障害児放課後対策・いきいき活動 社会参加促進 発達障害者支援センター 重度障害者入院時コミュニケーション支援事業 など	

『広島市がおこなう地域生活支援事業 広島市』を参照

13 平成31年度 福祉関係諸機関一覧

(1) 施設・作業所(障害福祉サービス、地域活動支援センター)

(令和元年5月1日現在)

※主に精神対象

* サービスの内容や所在地は、年度途中で変更することもあります

区	施設名	生介	A型	B型	移行	II型	III型	自訓	定着	所在地	地図上の番号
中区	第一・第二もみじ作業所	生介								吉島西二丁目1番24号	1
	生活介護事業所 あべに〜る十日市	生介								十日市町一丁目5番18号 十日市レスト1F	2
	みんなの働く場いっぽ		B型							大手町五丁目3番4号ベルナルドハウス102	
	協働カンパニー ステップ		B型							鶴見町12番25号大田ビル1F	3
	セルフヘルプ宝町 ※		B型							宝町7番22-101号	4
	カーブクラブ		B型							江波二本松二丁目5番18号	
	ワークチャレンジ 365		B型							舟入中町7番1号 藤和舟入中町ハイタウン1F	
	作業所わくわく		B型							小網町2番4号	5
	すまいるスタジオ		B型							大手町一丁目4番16号	6
	多機能型事業所はーとふる		B型	移行						小町6番11号 1F	7
	HAP-B		B型							橋本町4番1号村岡ビル2階	
	とまとの木		B型							白島中町14番8号白島コーポ1F	
	Libra		B型							広瀬町6番12大ービル201号	
	指定就労継続支援A型事業所 あじさい			A型						舟入幸町21番23-101号	8
	エヴァー八丁堀			A型						幟町14番11号 ウイング八丁堀ビル7F-B	
	グリーنز八丁堀			A型						八丁堀12番2号 日経ビル八丁堀5階	
	グリーنز十日市			A型						猫屋町3番9号 エスティーエス本社ビル3階	
	みらいく大手町			A型						大手町一丁目1番20号 相生橋ビル5F-A	
	つなぐ立町			A型						立町6番12号 立町ビル402	
	LICクリエイト市役所前			A型						大手町五丁目1番1号 大手町ファーストビル8階	9
	ひまわり本通			A型						大手町二丁目1番6号 大手町高橋ビル	10
	isai大手町センター			A型						大手町二丁目7番7号小松ビル8F	
	一般社団法人福祉キャリアセンター			A型					定着	吉島東一丁目22番2号	11
	LITALICO(りたりこ)ワークス広島紙屋町					移行			定着	立町1番20号NREG広島立町ビル3階	12
	株式会社チャレンジ・アソウ 広島事業所					移行			定着	立町2番23号 野村不動産広島ビル7階	12
	RING		B型			移行				大手町五丁目5番10号	13
	シーズン 広島センター			A型		移行				富士見町16番22号	
	就労支援センター FLaT ※					移行				自訓 幟町3番57号 中特会館ビル4階	
	ウェルビー広島駅前センター					移行			定着	上幟町7番3号 コンフォート幟ビル5階	14
	集いの場あゆみ						II型			住吉町10番2号正岡ビル102号	15
	エポケー ※							III型		白島九軒町12番27-103号	16
	バンダハウス ※							III型		千田町二丁目2番3号	
	ワークきらぼし		B型							大手町五丁目8番20号	17
アイラブ作業所	生介	B型							吉島西二丁目3番22号	1	
まなびキャンパスひろしま								自訓	大手町五丁目8番7号やしきビル	17	
多機能型事業所 りらくす中央	生介	B型							広瀬北町3番14号		
東区	第一きつつき共同作業所	生介	B型							戸坂南一丁目27番2号	18
	第二きつつき共同作業所	生介								戸坂南一丁目27番2号	18
	うぐいす共同作業所	生介								戸坂南一丁目26番1号	18
	広島市心身障害者福祉センター	生介				II型				光町二丁目1番5号	19
	つくしんぼ作業所	生介								戸坂くるめ木二丁目12番15号	20
	SOAR きつつき		B型							若草町15番20号	21
	まごころの家 若草		B型							若草町3番3号	22
	多機能型事業所 ハートリンク		B型							戸坂千足一丁目1番25-101、102号	23
	ワークブラザひがし		B型			移行				温品町字森垣内510番1号	24
	ひまわり			A型						東蟹屋町5番10号	25
	LITALICO(りたりこ)ワークス広島					移行			定着	光町一丁目10番19号 日本生命広島光町ビル1階	26
	SOARつつじ					移行			定着	自訓 若草町15番20号	21
	ほーぷデイサービスセンター	生介								光町二丁目9番30号竹本ビル205号	27
	きつつき第三作業所								III型	曙二丁目3番23号	
	フリースペース・スマイル中山 ※								III型	中山中町6番48号	
	ワークサポート広島東								自訓	光町二丁目9番30号竹本ビル204号	27

南区	生活介護事業所 レオーネ段原	生介					段原三丁目9番25号1F	28
	生活介護 あおぞら	生介					段原三丁目3番8号MKビル	29
	障害者支援施設 セルブ宇品	生介	B型				宇品東六丁目2番20号	30
	障害者通所事業所 ワークハウス スマイル		B型				段原南三丁目21番7号ネクストヒロシマ3F	31
	広島南作業所		B型				西蟹屋一丁目1番48号	32
	広島南第2作業所		B型				大州一丁目11番14号	33
	ワークセンター光清学園		B型				出汐二丁目3番52号	34
	さんらいふ	生介					段原山崎三丁目2番28号	35
	パンブキン		B型				東雲本町一丁目1番26号	36
	メロディ		B型				宇品海岸三丁目10番35号	37
	就労継続支援B型 ふるーる		B型				仁保新町一丁目3番1号田口ビル102	38
	サンライズ		B型				東雲本町二丁目7番6号K1ハイム東雲2F	39
	トムハウス ※		B型				南区東雲一丁目10番14号	
	LOVE ART		B型				大州三丁目7番10号301号	40
	極-KIWAMI-		B型				稲荷町3番13号サンシティ稲荷町ビジネスサイト	
	ワークサポート広島南		B型		移行	定着	出島一丁目7番14号	
	ICOテラス			A型			青崎一丁目1番21号 ファンコート青崎2F	41
	ジョブサポート げんき 京橋			A型			京橋町8番18号	42
	ウエルビジョブ 広島南				移行	定着	比治山本町16番35号	43
	みどり作業所 ※					Ⅲ型	宇品西二丁目15番35号	
ミルキーハウス ※					Ⅲ型	翠三丁目10番10号		
元気工房やる気まんまん(みどり作業所)					Ⅲ型	宇品神田五丁目5番3-101号	44	
西区	生活介護事業所 あべに〜る南観音	生介					南観音二丁目8番26号 第2田中ビル1F	45
	生活介護事業所 おりづる作業所	生介					観音新町三丁目9番6号	46
	生活介護事業所 オリーブ	生介					観音新町三丁目9番51-6号	46
	広島市西部障害者デイサービスセンター	生介				Ⅱ型	商工センター八丁目3番12号	47
	多機能型事業所 よこがわ	生介	B型				横川町三丁目2番46号	48
	SAORI hands 広島	生介	B型				横川新町6番8号スカイプラザシーイング1階	49
	広島作業所	生介	B型	A型			商工センター八丁目3番35号	47
	就労継続支援B型事業所 ふたば		B型				庚午南一丁目32番19号	50
	第三もみじ作業所		B型				観音新町三丁目9番3号	46
	ワークネクスト(トレペンネ)		B型				草津新町二丁目26番1号 アルパーク横丁	51
	ともいき創生塾		B型				楠木町三丁目10番13号 3F	52
	ピース作業所		B型				古江東町5番23号	
	あみ作業所		B型				東観音町17番3号	
	かざぐるま舎 ※		B型				上天満町4番2-101号	
	ふれあい作業所 ※		B型				庚午南一丁目31番6-101号 第2水野ビル	
	ゆう香くらぶ 天満町事業所		B型				上天満町8番14号	53
	あいの木		B型				田方三丁目722番43号	54
	ポレポレファクトリー		B型				横川新町6番1号	49
	ジョブサポート げんき			A型			三篠町一丁目9番17号 辻マンション201号	55
	株式会社オンザライズ			A型			三滝町9番24号	56
	にこにこセンター			A型			横川町二丁目6番14号-201号	
	みらいく横川			A型			横川町二丁目9番1号 マツモトビル601号室	
	サポートセンターめばえ			A型			井口五丁目13番19号 1階	57
	ひまわりくらぶ広島			A型			西観音町15番5号	58
	広島障害者雇用支援センター				移行		打越町17番27号	48
	LITALICO(りたりこ)ワークス広島横川				移行	定着	横川町三丁目12番10号 村上ビル3F	59
	ワークネクスト				移行		草津梅が台10番1号	60
	アイ・サン・サン(輝く瞳)作業所					Ⅲ型	鈴が峰町41番1号	61
	ワークショップ西風舎					Ⅲ型	己斐上二丁目6番7号	62
	Cross Road(クロスロード) ※					Ⅲ型	横川町三丁目10番20号 2F	
自立訓練(生活訓練)事業所 梅の里					自訓	草津梅が台10番1号	60	
安佐南区	からかる	生介					祇園六丁目30番5号	
	太田川学園生活介護事業所	生介					伴東三丁目16番1号	
	どんぐり学園・広島どんぐり作業所	生介	B型				大塚西三丁目8番1号	63
	ふなき福祉園	生介	B型				相田一丁目10番24-8-4	
	あさ作業所	生介	B型				祇園六丁目30番5号	

安佐南区	工房とも		B型				伴中央四丁目21番36号	
	ゆう香くらぶ		B型				川内二丁目13番18号	
	育成会 上安作業所		B型				上安二丁目38番9号	
	じゃがいも		B型				長楽寺一丁目13番3号	
	ワークハウス クローバー		B型				相田一丁目6番26号	
	自立支援共同作業所みどり菜園		B型				緑井三丁目37番31号	
	ワークセンターあるく		B型				長東三丁目30番9号	
	ソーシャルケア ポケット	生介	B型				祇園三丁目21番30号 4階	
	あざみ			A型			中筋二丁目7番8号 中筋ヤマダビル202号	
	おりづる			A型			祇園三丁目13番21-4号	
	みのり作業所					Ⅲ型	川内一丁目34番11号	
	あかね作業所					Ⅲ型	安東二丁目4番12号	
	多機能型事業所 古の市		B型	移行			古市三丁目4番6号	
	就労支援事業所 アンダンテ		B型				祇園六丁目30番5号	
安佐北区	ラピスラズリ	生介					白木町三田中柳原8924番地2	
	広島市北部障害者デイサービスセンター	生介			Ⅱ型		可部南五丁目8番70号	
	みんなでスクラム作業所・みんなでスクラム	生介	B型				落合一丁目13番18号	
	ふたつかの里	生介	B型				落合南町字金川201番地2	
	MIRAIMA		B型				深川七丁目12番6号	
	白木の郷	生介		A型			白木町小越10230番地	
	デイサービスセンター“美&はっぴー”					Ⅱ型	落合南一丁目53番8-3号	
安芸区	広島市東部障害者デイサービスセンター	生介				Ⅱ型	船越南三丁目2番16号	64
	障害福祉サービス事業所森の工房みみずく	生介	B型				矢野東二丁目4番24号	65
	障害福祉サービス事業所森の工房やの	生介	B型				矢野東二丁目4番26号	65
	障害福祉サービス事業所森の工房あやめ ※		B型				矢野東二丁目4番24号	65
	ノイエ ※		B型	移行			安芸区中野東四丁目5番30号	
	ジョブサポート げんき 矢野			A型			安芸区矢野西四丁目1番19号 SUGIビル	
佐伯区	淳照園	生介					八幡一丁目5番20号	
	重症児・者福祉医療施設 鈴が峰	生介					五日市皆賀104番27号	66
	ひといき作業所	生介					利松三丁目25番43号	
	ファニー	生介	B型				五日市一丁目7番18号	67
	支援センター あいる	生介	B型				八幡五丁目8番9号	
	多機能型事業所 りらくす	生介	B型				新宮苑8番17号	68
	広島市皆賀園	生介	B型	移行	定着		皆賀二丁目10番11号	69
	いしうちの郷		B型				五日市町石内3993番地	70
	いしうちの森	生介	B型				五日市町石内3912番地	71
	いつかいちむぎの家作業所		B型				利松二丁目3番8号	
	中央・幸工房 ※		B型				佐伯区五日市中央四丁目15番49号1	
	ジョブサポート げんき 五日市			A型			佐伯区旭園3番35号 IBビル3階	
	広島自立支援センターとともに			A型			五日市町大字上河内白ヶ瀬1544番	
	広島自立支援センターとともに 原田橋事業所			A型			五日市町大字下深川字中村129番地	
	広島自立支援センターとともに 石内事業所			A型			五日市町石内2014番地7号	
self-A・広島 海			A型			五日市駅前二丁目15番2号	72	
地域活動支援センターほほえみ ※					Ⅲ型	広島市佐伯区三筋二丁目1番9号		
湯来障害者デイサービス事業所					Ⅱ型	湯来町和田333番地		
安芸郡	柏の実苑	生介					府中町青崎東7番12号	73
	障害者活動センターあゆみ	生介					熊野町平谷五丁目260番1号	
	なないろ作業所	生介	B型			自訓	府中町浜田三丁目9番1号	74
	ユキ園		B型				海田町浜角2番33号	75
	清風会海田工場		B型	A型			海田町月見町8番33号	76
	RISING-SUN		B型				坂町北新地二丁目3番40号101	
	海田なかよし実習所					Ⅲ型	海田町南本町6番30号	77
	地域活動支援センター ワイワイハウス					Ⅲ型	坂町坂東二丁目19番1号	
	エバーグリーン					Ⅱ型	海田町東二丁目8-6	78
	ひよこの家		B型				海田町西浜5番30号	79
廿日市	友和の里	生介					友田218番38号	
	生活介護事業所 原	生介					原926番1号	
	就労継続支援事業所 原		B型	A型			原73番地1	
	ばすてる大野原		B型				大野原二丁目12番12号	
ばすてる	生介					大野679番		

(2) 職業訓練機関 等

広島障害者職業能力開発校	南区宇品東四丁目1番23号
育成会職業自立訓練事業 (広島市手をつなぐ育成会)	東区光町二丁目15番55号
	西区打越町17番27号
広島障害者職業センター * 職業準備支援室	東区光町二丁目15番55号
	東区光町一丁目8番20号プレジデント光が丘2階
広島障害者雇用支援センター	西区打越町17番27号

(3) 重症心身障害児・者施設 等

独立行政法人国立病院機構 賀茂精神医療センター	東広島市黒瀬町南方92番地
重症心身障害児・者施設 ときわ 呉	呉市宮原十三丁目2番12号
重症心身障害児・者施設 鈴が峰	佐伯区五日市町皆賀104番27号
原 重症心身障害児・者福祉医療センター	廿日市市原926番1号
独立行政法人国立病院機構 広島西医療センター	大竹市玖波四丁目1番1号

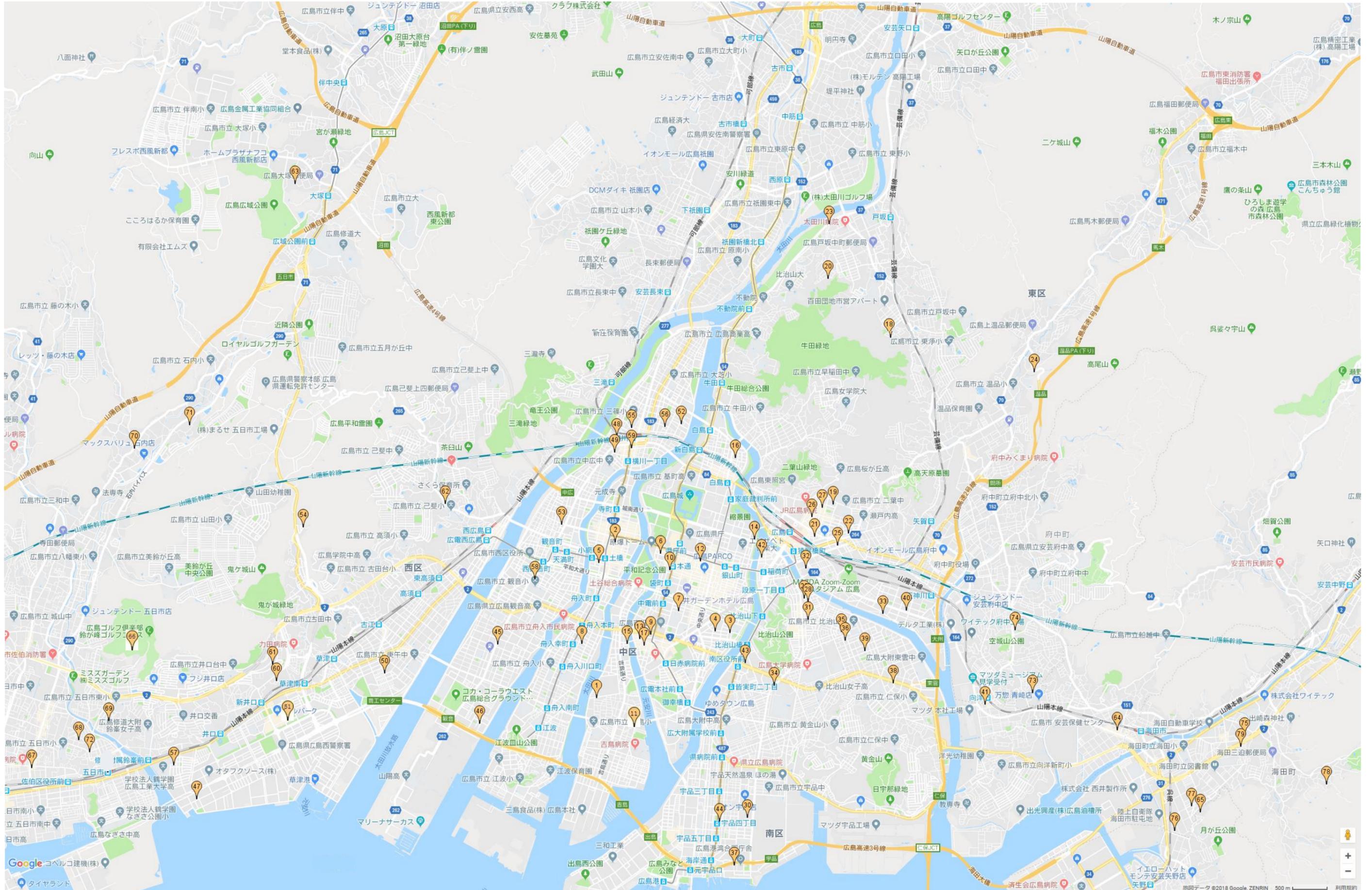
(4) 相談機関・就職支援機関・その他

広島市発達障害者支援センター	東区光町二丁目15番55号	568-7328
広島市こども療育センター 地域支援室	東区光町二丁目15番55号	263-0683
広島市西部こども療育センター 療育相談室	佐伯区海老山南二丁目2番18号	943-6831
広島市重症心身障害児者相談支援センター ほっと+いけあ ひろしま	佐伯区五日市町皆賀104番27号(鈴が峰内)	943-8832
瀬野川学園 障害者相談支援事業所	安芸区上瀬野南一丁目338-3	894-8958
相談支援事業所 光清学園	南区出汐二丁目3番46番	254-0905
(社福)広島市手をつなぐ育成会 障害者支援施設 いくせい	西区打越町17番27号	537-1771
障害者生活支援センター めーぷる	中区吉島西2丁目3番20号	545-8800
生協ひろしま 障がい者相談支援センター	中区本川町二丁目6番11号	503-0715
(社団)広島県就労振興センター 呉安芸地域障害者就業・生活支援センター	南区比治山本町12番2号 広島市社会福祉会館3F	252-3105
(社福)つつじ 広島東障害者就業・生活支援センター	東区若草町15番20号 就労サポートセンターSOAR 5F	262-5100
(社福)広島市手をつなぐ育成会 広島障害者就業・生活支援センター	西区横川町二丁目5番6-201号	297-5011
(社福)広島市手をつなぐ育成会 広島市就労支援センター	西区横川町三丁目2番46号	537-1331
ハローワーク広島 (広島公共職業安定所)	中区上八丁堀8番2号広島清水ビル	223-8609
ハローワーク広島東 (広島東公共職業安定所)	東区光が丘13番7号	264-8609

(5) 各区の福祉事務所

中福祉事務所(中区保健福祉課障害福祉係)	中区大手町四丁目1番1号	504-2588
東福祉事務所(東区保健福祉課障害福祉係)	東区東蟹屋町9番34号	568-7734
南福祉事務所(南区保健福祉課障害福祉係)	南区皆実町一丁目4番46号	250-4132
西福祉事務所(西区保健福祉課障害福祉係)	西区福島町二丁目24番1号	294-6346
安芸福祉事務所(安芸区保健福祉課障害福祉係)	安芸区船越南三丁目2番16号	821-2813

平成31年度 福祉関係諸機関一覧マップ(P. 32~34福祉関係諸機関一覧参照)



進路トピックス

困ったときには・・・

手帳をもっている、
もっていないでも

何歳でも

どんな障害の種類でも



広島市にお住いの障害のある方やそのご家族、地域の方、関係機関の方などなど

様々な困りごとや悩みなどの相談を無料でお受けします。

広島市の委託により設置・運営しています。

月曜日～金曜日 午前8時30分から午後5時15分

担当区域	名称	電話番号	ファクス番号
中区	広島市中区障害者相談支援事業所	234-2422	234-2411
	広島市中区障害者基幹相談支援センター	298-5575	545-8801
東区	広島市東区障害者相談支援事業所	573-0140	229-7008
	広島市東区障害者基幹相談支援センター	573-0140	573-0788
南区	広島市南区障害者相談支援事業所	298-1122	250-7831
	広島市南区障害者基幹相談支援センター	207-0636	207-0626
西区	広島市西区障害者相談支援事業所	555-1018	555-1018
	広島市西区障害者基幹相談支援センター	270-1249	270-1248
安佐南区	広島市安佐南区障害者相談支援事業所	962-3350	962-3336
	広島市安佐南区障害者基幹相談支援センター	207-4338	207-4339
安芸区	広島市安芸区障害者相談支援事業所	892-1601	892-3914
	広島市安芸区障害者基幹相談支援センター	881-7110	894-0403

相談支援事業所と相談支援センターの相談支援内容に違いはありません。どちらでも相談は可能です

サービス等利用計画・障害児支援利用計画作成は
指定特定相談支援事業所・指定障害児相談支援事業所に御相談下さい。

事業所検索・・・広島市のホームページ
「広島市内の障害福祉サービス等及び地域生活支援事業
事業者・施設情報一覧」でご確認ください。

